



Ramadan Championship 2017

アッサラームアライクム！

私の指導している道場に、ナショナルチームでも指導を行っている選手が3人います。2人は15歳と18歳の男の子、1人は16歳の女の子です。3人共頑張り屋で柔道が大好きな選手です。しかし、道場から遠くに住んでいる彼らは毎日来ることが難しい状態にありました。この国では、親が送り迎えをすることは珍しく、殆どスクールバスやスポーツクラブのバスが子供たちを迎えに行きます。家庭にメイドやドライバーがいる場合は、その方々が送迎します。私が所属する柔道連盟にも送迎バスがあったのですが、今年から経費削減の為、送迎を一旦停止しました。20人以上参加していた選手がみるみる減っていき、今年に入り2週間、生徒が0~2人という日が続きました。練習が減った選手の為に、私は連盟に交渉し、ナショナルチームのメンバーのみ、送迎できることになりました。早速、次の日から行動開始です。選手は、毎日柔道ができることに嬉しさを感じているらしく、気合が入っています。送迎が再開されてからテストが無い限り、彼らは毎日来ています。ランダム

— 出来事 —

● 7月 は、World School Championship in India、JUA Cadets & Junior Championship in Hong Kong & Macao と大会が続きます。

● UAE では、女子の選手を増やそうという話が本格的に動き始めました。フジェイラのモー先生の道場では、15人ほど柔道を習ってみたいという女の子が増えているらしく、女性のコーチを探しているみたいです。私が教えている Titan Spots Academy でも、只今 10人の女性が柔道を習いたいということで、コーチ待ちの状態です。(女性のコーチが見つかり次第、活動開始)

今月のアラビア語

「ケイファ・ハールク？」

意味:お元気ですか？

شكرا

シユ克蘭日記

7月号

で練習に来ていた選手が毎日来るようになったため、私の指導もプランが組みやすくなり、効率よく練習ができるようになりました。

送迎開始から3ヶ月弱が経ち、6月2～3日。UAE Army 主催の試合が行われました。この大会は、「ラマダン チャンピオンシップ」と言い、ラマダン中に行われる大会で夕方6時に計量・22時試合開始となります。ラマダンシーズン&夜遅い大会である為、参加選手は普段より確実に少なくなっています。参加選手は少ないながら、今大会賞金が出ることから、各階級のライバルが賞金を目当てに争います。各階級、参加者は5-10人。しかし、メンバーを見ると、普段上位に上がってくる選手ばかり、一回戦から普段の準決勝のレベルです。

初日の大会が始まり、私の生徒からアハメッドとメイサが出場しました。アハメッドの一回戦は毎回準決勝・決勝で当たるライバル。開始2分、得意技の背負い投げが綺麗に決まり一本。二回戦目もライバル登場、勝ったり負けたりしている選手です。しかし、アハメッドは難なく勝利。準決勝へ進みました。準決勝の相手は、初めて見る選手でした。今大会は、オープン大会になっているため、今回参加し勝ち上がってきた選手です。この相手に対し、アハメッド立ち技で勝負していました。しかし、素早い選手に対し、アハメッドは苦戦を強いられました。この試合では、練習してきた立ち技から寝技の移行がさく裂しました。背負い投げをかけ潰れた選手に対し、瞬時に前方へ一回転し、絞め技を決めるアハメッド。完璧に決まっていた。相手は我慢するも堪らず「参った」し、一本勝ちしました。決勝戦、相手は、週に2日、同じ道場で練習している選手です。お互いに手の内を知る同士、決勝戦が始まり、白熱した戦

いが行われました。正に決勝戦です。お互いに譲らず、技を掛け合いました。初めにポイントを奪ったのは相手側。指導1つを奪われ、そのすぐ後に綺麗な一本背負い投げがかかりました。一瞬、一本かと思った技でしたがビデオ判定の結果「技あり」。ホッとしました。そこから、アハメッドの猛攻撃が始まりました。技ありを奪い返し、指導2つ、そして技ありを取返しました。終了時間まで攻め切ったアハメッドはこの試合を勝ち切り、見事優勝を納めました。



隣の試合場で並行して行われていたのが、メイサの試合です。この大会は、メイサにとって唯一の国内大会。女性の国民では、メイサしか柔道選手がおらず、海外でしか試合参加はできないでいます。今回の大会はオープン大会の為、参加選手がおり彼女が試合をすることができました。国内唯一の大会ですが、メイサはラマダンが始まってからというもの、お家柄、練習することができていませんでした。今回は練習しない状態での試合参加。彼女の階級は、彼女を合わせて3人の参加、リーグ戦で行われました。1回戦、相手はチュニアで柔道経験があるベテラン選手でした。開始直後から覇気のない戦いをしていました。それもそのはず、今大会は、ラマダン中。更に練習していない状態で試合に出ることが不安いっぱい出て

いたのでしょう。しかし、相手は関係ありません、容赦なく攻めます。唯一、相手は10年前に柔道を辞め、今回久しぶりの大会となったため彼女も同じような感じでした。少し相手が先攻する中、ゴールドデンスコアに突入。サドンデスの戦いとなりました。ゴールドデンスコア開始1分、メイサが不意にかけた小内巻き込みか相手の足に引っかかり、何とか勝利。ホッとしました。2回戦目は、柔道を始めたばかりの女の子であったため、危なげなく勝利し、今大会を優勝することができました。



今回の大会では、良いところもあれば悪いところもありました。今大会が、彼らにとって練習がどれだけ大切か再確認した試合だったのでと感じております。

小杉様とのお別れ

先月、私が UAE へ来る以前よりお世話になりました小杉様(JODCO)が長期の滞在を終え、日本へ帰任されました。これまで、小杉様から柔道の件のみならず多くの支援をいただきました。私が UAE へ来てすぐ、VISA の件や UAE の ID の件などで困惑しているときに、仕事でお忙しいにもかかわらず、UAE 柔道連盟へ一緒させていただき交渉してくださったり、夕食に誘っていただいたりと大変

お世話になりました。

去年の第一回日本大使館杯では、大会準備や柔道連盟との会議など一緒させていただき、素晴らしい大会にすることができました。大使館杯後、小杉様・佐藤様(当時アブダビへ来ていた研修生)と私で、打ち上げと題しまして今後の UAE 柔道の発展について深くお話をさせていただいたことが、つい昨日の事のようにです。

小杉様は、私に会うといつも最近の柔道はどうですか?と聞きました。私はとても嬉しかったです。いつも柔道の事を気にかけてくださり、一緒に柔道発展に向けて活動していただきました。他にも、釣りに誘っていただき、これまで、楽しい時間を多く過ごさせていただきました。しかし、不思議なことに、小杉様との写真が一枚も私の手元がありません。次回お会いした時、是非写真をご一緒させていただきたく存じます。

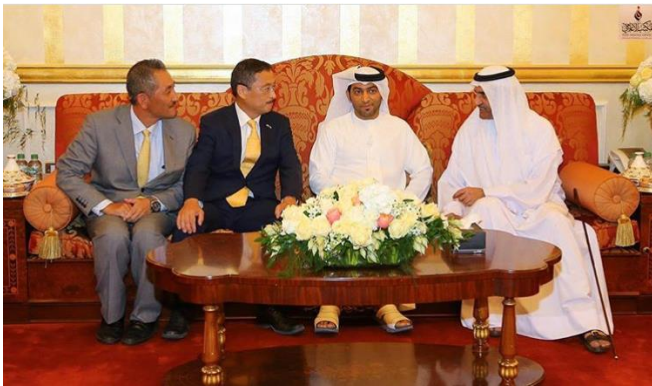
小杉様、本当にありがとうございました。この場をお借りしまして、感謝申し上げます。

EID MUBARAK (イード=ムバラク)

6月26日(月)、Eid(イード)=ラマダン終わりの祝祭日です。この日より3日間ほど、イードが始まりました。イード初日、私は JODCO の澤田様にお誘いいただき、フジエイラへ行きました。目的は、フジエイラの首長であるハマッド・ビン・ムハンマド・アッ=シャルキー (Sheikh Hamad bin Mohammed Al Sharqi) の Greeting に参加するためです。当日の朝、フジエイラへ到着し時間があつたので少し観光をご一緒させていただいた後、夕方4時頃、シェイク・ハマッドのいる宮殿(通称:パレス)へ向かいました。緊張が高まる中、

Greeting 会場へ入って行きました。広い部屋の奥中央にシェイク・ハマッドが見えました。その隣には、フジェイラの王子のモハメッド・ビン・ハマッド・ビン・アッ=シャルキー (Sheikh Mohamed bin Hamad bin Mohammed Al Sharqi) (モー先生のクラブも支援しています)。

とうとう私の番が来ました。最初にシェイク・ハマッド、私は握手だけでは終わらないと、アラビア語で自己紹介を考えていました。「アッサラームアライクム。アナ エスミー 原口直也。アナ ムダリプ 柔道。」シンプルな自己紹介でしたが、思いのほか上手く言えたのか、シェイク・ハマッドはニコッと笑い、私の手をギュッと握り返して下さいました。大変嬉しかったです。次に王子のシェイク・モハメッド。私がアッサラームアライクムと言うと、返しに笑顔で「こんにちは」とおっしゃいました。私は思わず、「オッス」。こんなところで部活動生の癖が出るとは思いませんでした。



その後、私たちは30分ほど正面中央の席に座ることができました。右から、シェイク・ハマッド、アル=カービー(澤田様のご友人でエネルギー省に勤務)、出光興産の江頭様。写真には入っていませんが、左隣に私が座っております。その後、澤田様のご厚意により、右からシェイク・ハマッド、アル=カービー、私、澤田様と席替えをしてくださり、シェイク・ハマッドとお話ができる絶

好のチャンスをいただきました。しかし、緊張しい私は満足がいく話をする事ができませんでした。お話ししようと思っていたことは沢山あったのですが、隣へ座らせていただいた瞬間に、頭が真っ白になってしまいました。久しぶりに緊張で頭の中が真っ白になりました。

今回、二度とないような体験ができました。チャンスを生かすことができませんでした。誘っていただきました澤田様には大変感謝しております。

改めて、色々な方に助けていただき、私自身柔道指導ができていることを実感しております。この感謝の気持ちを忘れずこれからも、柔道の発展に向けて皆さんの多大なる支援を受けながら頑張っていきたいと思っております。

(UAE柔道連盟 原口直也)